### 2. 地域への愛着心・地域での活動

### (1) 地域への愛着心

今回回答を寄せた青年が、現在住んでいる地域(市町村)に愛着を感じているかどうか をみるために、3つの項目について質問している。

「現在住んでいる地域(市町村)が好き」かどうかをたずねた項目では、約9割が「好き」(43.3%) または「まあ好き」(46.3%) と回答している(表 $\Pi-6$ )。居住地区別にみると、どの地区も「好き」または「まあ好き」という回答が多いが、「好き」は「仙台市」(49.0%) と「その他(宮城県以外)」(58.1%) で特に高い。

		理在住んで	いる市町村	への必差		
		該当者数	好き	まあ好き	あまり好き ではない	きらい
全体		1,545	43.3	46.3	7.2	3.2
性別	男	844	40.4	48.1	7.2	4.3
	女	701	46.8	44.1	7.1	2.0
居住地区	仙台市	749	49.0	43.7	5.6	1.7
	仙南地区	175	38.3	48.0	8.6	5.1
	仙北地区	573	36.1	50.4	9.1	4.4
	その他	31	58.1	32.3	3.2	6.5

表Ⅱ-6 現在住んでいる市町村への愛着

「乗物の中やテレビ番組などで、いま住んでいる市町村のことが話題になっていると気になる」かどうかたずねた項目では、8割以上が「とても気になる」(38.1%) または「まあ気になる」(44.8%) と回答しており、居住地区による大きな違いはみられない(表II - 7)

表 🛮 - 7 現在住んでいる市町村に関する話題	題への関	語へ(	話題,	ス	俎よ	「村に	市田	ハス	7	住ん	珇 左	- 7	表 Π
--------------------------	------	-----	-----	---	----	-----	----	----	---	----	-----	-----	-----

		現在住んで	でいる市町	村に関する	話題への	関心	
		該当者数	とても気 になる	まあ気に なる	あまり気 にならな い	まったく気 にならな い	NA
全体		1,545	38.1	44.8	11.5	5.0	0.5
性別	男	844	35.1	44.5	13.6	6.2	0.6
	女	701	41.8	45.1	9.0	3.7	0.4
居住地区	仙台市	749	37.7	45.1	11.5	5.2	0.5
	仙南地区	175	34.3	48.0	10.3	6.9	0.6
	仙北地区	573	39.4	44.7	11.5	4.0	0.3
	その他		51.6	32.3	9.7	6.5	_

「将来もずっといまの市町村に住んでいたい」かどうかをたずねた項目では、半数以上が「一生住みたい」(16.4%)または「できれば住みたい」(39.4%)と回答している。居住地区別にみると、「一生住みたい」は「その他(宮城県以外)」(22.6%)と「仙北地区」

(21.6%)でやや高く、以下「仙南地区」(16.6%)、「仙台市」(12.0%)の順であった(表II-8)。

表Ⅱ-8 現在住んでいる市町村への定住意思

		現在住んで	でいる市町	村への定住	E意思			
		該当者数	一生住みたい	できれば 住みたい	できれば よそに移 りたい	ぜひよそ に移りた い	わからない	NA
全体		1,545	16.4	39.4	17.2	8.5	18.3	0.2
性別	男	844	22.0	37.3	14.8	8.4	17.2	0.2
	女	701	9.7	41.8	20.1	8.7	19.5	0.1
居住地区	仙台市	749	12.0	42.6	17.5	8.9	19.0	_
	仙南地区	175	16.6	38.9	16.0	10.3	17.7	0.6
	仙北地区	573	21.6	36.0	17.5	7.0	17.8	0.2
	その他	31	22.6	32.3	16.1	9.7	19.4	_

### (2) 地域でのイベント・活動への参加

### ①参加経験

この 1 年間に地域のイベントや活動に参加したりしたことがある者は 48.1%であった。 男女別ではあまり違いがみられないが(男性 50.1%、女性 45.6%)、年齢別では年齢があがるほど高くなり、30 代前半の参加率は 65.4%であった(図 II-9)。

職業別では、自営業・自由業(農林漁業を含む)が 87.1%でもっとも高く、次いで主婦が 66.7%であった。

居住地区別では、「仙北地区」(56.5%)、「仙南地区」(51.4%)、「その他(宮城県以外)」(41.9%)の順となり、「仙台市」(41.4%)がもっとも低い。

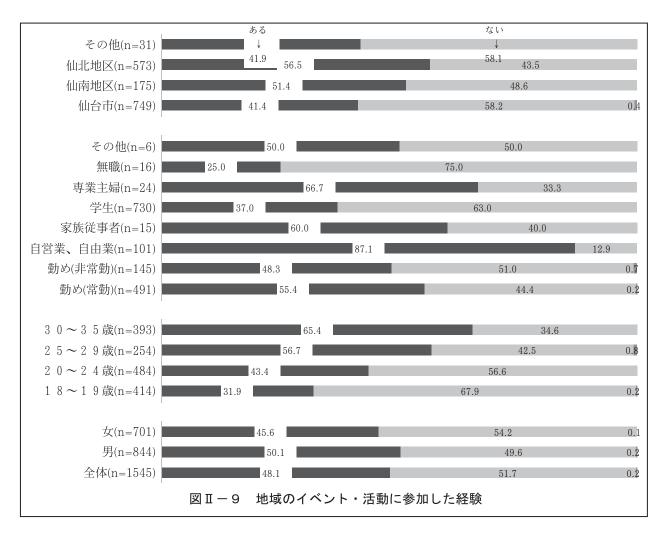
地域活動への参加率と過去の団体・サークル活動の関係をみると、ジュニアリーダーの 経験者の参加率が 69.5%で、全体の平均値を約 20 ポイント上回っている。

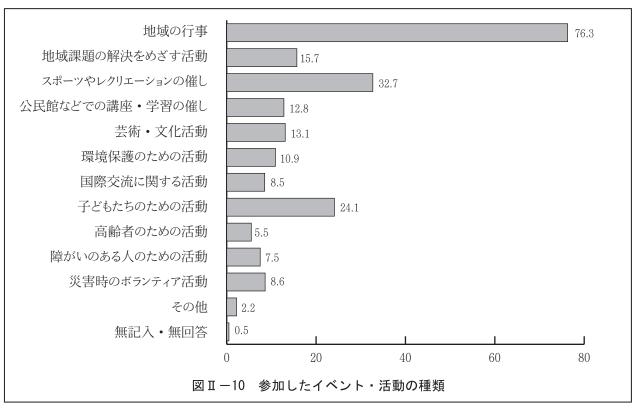
また、地域活動への参加率は小さな子どもがいる場合に高く、末子の年齢が3歳未満では、男性は83.6%、女性は66.7%である。

# ②参加したイベント・活動の種類

参加したイベントや活動の内容をみると、「お祭りなどの地域の行事」(76.3%)がもっとも高く、以下「スポーツやレクリエーションの催し」(32.7%)、「子どもたちのための活動」(24.1%)、「地域課題の解決をめざす活動」(15.7%) の順であった(図 II-10)。

これら参加率の高い活動のうち、「地域課題の解決をめざす活動」や「スポーツやレクリエーションの催し」については、性別では女性よりも男性で、年齢別では 20 代前半よりも 20 代後半から 30 代前半で高く、「地域課題の解決をめざす活動」の場合には、職業別でも「自由業・自営業」で高いという特徴がみられる(表 II-9)。





表Ⅱ-9 参加した地域イベント・活動の種類

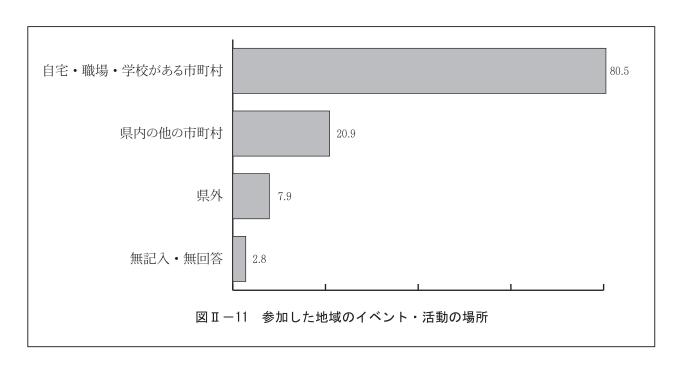
		参加した地	!域イベント・	活動の種類											
		該当者数	地域の行事	地域課題の解決をめざす活動	スポーツ	公民館な どでの講 座・学習の 催し	芸術·文化 活動	環境保護 のための 活動	国際交流 に関する 活動	子どもたち のための 活動	高齢者のための活動	障がいの ある人の ための活動	災害時の ボランティ ア活動	その他	NA
性別	男	423	74.7	20.3	40.7	10.6	11.3	11.3	6.9	22.7	3.8	5.2	10.6	2.6	0.5
	女	320	78.4	9.7	22.2	15.6	15.3	10.3	10.6	25.9	7.8	10.6	5.9	1.6	0.6
年齢	18~19歳	132	75.8	3.8	22.7	7.6	12.1	6.8	3.8	20.5	12.9	12.9	5.3	1.5	1.5
	20~24歳	210	73.3	10.0	26.7	11.9	12.4	12.4	10.0	18.1	4.8	9.5	6.7	2.9	0.5
	25~29歳	144	75.0	17.4	38.9	11.8	16.0	8.3	9.7	16.7	2.1	4.9	4.9	2.1	-
	30~35歳	257	79.8	25.7	39.3	16.7	12.5	13.2	8.9	35.0	4.3	4.7	14.0	1.9	0.4
職業	勤め(常勤)	272	76.8	16.9	45.2	14.0	12.1	11.0	7.7	21.0	4.0	4.4	6.3	2.6	-
	勤め(非常勤)	70	74.3	15.7	31.4	20.0	15.7	17.1	11.4	30.0	2.9	7.1	5.7	1.4	-
	自営業、自由業	88	85.2	44.3	42.0	11.4	5.7	13.6	6.8	31.8	3.4	5.7	23.9	-	1.1
	家族従事者	9	88.9	-	22.2	44.4	-	-	-	33.3	-	-	22.2	11.1	-
	学生	270	72.6	7.0	18.9	9.3	16.3	8.9	9.3	19.3	9.3	12.2	6.7	2.6	1.1
	専業主婦	16	87.5	6.3	-	6.3	12.5	-	-	56.3	-	-	-	-	-
	無職	4	100.0	-	50.0	25.0	25.0	-	50.0	50.0	-	25.0	-	-	-
	その他	3	100.0	-	33.3	33.3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
居住地区	仙台市	310	73.9	7.7	22.6	12.6	14.2	11.0	14.2	21.0	5.2	9.4	6.1	1.0	1.3
	仙南地区	90	76.7	18.9	42.2	11.1	13.3	6.7	6.7	22.2	2.2	6.7	5.6	4.4	-
	仙北地区	324	78.1	21.6	41.0	13.3	12.0	11.1	3.1	27.5	5.9	4.9	11.1	2.2	-
	その他	13	84.6	30.8	7.7	7.7	7.7	30.8	-	23.1	23.1	23.1	15.4	7.7	-

居住地区別では、「地域課題の解決をめざす活動」(仙台市 7.7%、仙南地区 19.6%、仙 北地区 21.5%)や「スポーツやレクリエーションの催し」(仙台市 22.6%、仙南地区 42.3%、 仙北地区 40.8%) については、仙台市で比率が低い。

なお、地域活動への参加率が高いジュニアリーダー経験者にスポットをあてて、活動・イベントの種類をみると、「子どもたちのための活動」(36.4%)、「災害時のボランティア活動」(15.2%) などで平均値を上回っている。

# ③活動場所

参加した地域のイベントや活動の場所をたずねたところ、「自宅・職場がある市町村」 (80.5%) が全体では約 8 割となっており(図 II-11)、「仙北地区」で 85.8% と特に高い (表 II-10)。



表Ⅱ-10 居住地区別にみた参加した地域イベント・活動の場所

		参加した地	域イベント・	活動の場所		
		該当者数	自宅・職場・ 学校がある 市町村	県内の他 の市町村	県外	NA
居住地区	仙台市	310	75.8	21.3	11.0	3.9
	仙南地区	90	81.1	23.3	3.3	2.2
	仙北地区	324	85.8	19.4	5.6	1.9
	その他	13	69.2	23.1	23.1	_

# ④参加してよかったこと

地域のイベントや活動に参加してよかったことをたずねたところ、「年齢の異なる人と交流できた」が 57.1%でもっとも高く、以下、「活動の楽しさがわかった」(51.0%)、「新しい仲間ができた」(42.0%) の順である(図 II-12)。

男女別では、「新しい仲間ができた」(男 46.3%、女 36.3%)や「地域に貢献できた」(男 41.6%、女 28.1%)などは女性より男性で高く、「活動の楽しさがわかった」(男 46.1%、女 57.5%)は男性より女性で高い(表  $\Pi-11$ )。

年齢別では、「活動の楽しさがわかった」は 10 代後半と 20 代前半で高く、「地域に貢献できた」は 20 代後半と 30 代前半で高い。

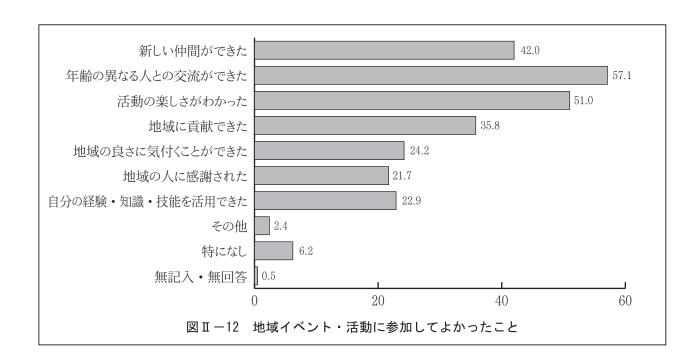


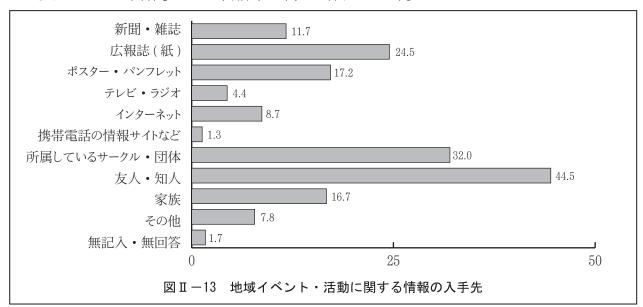
表 Ⅱ-11 地域イベント・活動に参加してよかったこと

C.		地域イベン	<b>小・活動に</b>	参加してよ	かったこと				NOTE THE REAL PROPERTY.			
		該当者数	できたい仲間	きた 人との交流 な	がわかった	きなばに貢献	で気付め を付くこと と	謝域の人に	活開・ 田識・ 大 を 技験	その他	特になし	N A
-			が	でる	<b>*</b>	で	がに	感	を、			
性別	男	423	46.3	61.0	46.1	41.6	22.7	23.6	24.8	2.1	4.7	0.5
12	女	320	36.3	51.9	57.5	28.1	26.3	19.1	20.3	2.8	8.1	0.6
年齢	18~19歳	132	37.1	44.7	59.8	26.5	22.7	21.2	23.5	0.8	7.6	1.5
300000000	20~24歳	210	41.0	58.6	61.9	25.2	26.2	18.6	26.2	3.8	6.7	-
	25~29歳	144	44.4	60.4	46.5	43.8	25.7	23.6	16.7	4.2	2.1	-
	30~35歳	257	44.0	60.3	40.1	44.7	22.6	23.3	23.3	1.2	7.4	0.8

# ⑤情報の入手先

地域でのイベントや活動に関する情報の入手先は「友人・知人」が 44.5%でもっとも高く、以下、「所属しているサークル・団体」(32.0%)、「広報誌(紙)」(24.5%)、「ポスター・パンフレット」(17.2%)、「家族」(16.7%) などの順である(図 II-13)。

男女別では、それほど大きな違いがみられず、年齢別では、「広報誌(紙)」は 20 代後半と 30 代前半で高く、「ポスター・パンフレット」は 10 代後半と 20 代前半で、「所属しているサークル・団体」は 30 代前半で高い (表 II-12)。



表Ⅱ-12 参加した地域イベント・活動に関する情報の入手先

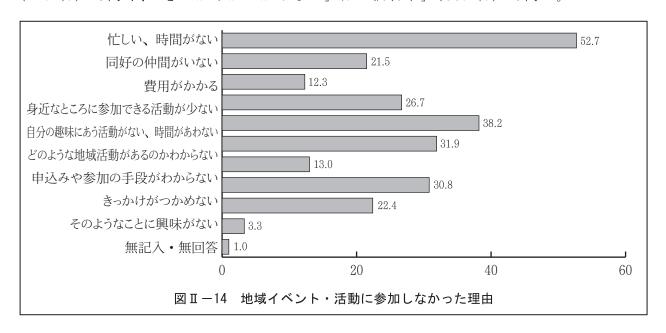
		参加した地	地域イベント	・活動に関	する情報σ	)入手先							
		該当者数	新聞・雑誌	(紙) 広報誌	ト パンフレッ ポスター・	ジオ	ネット	情 携 帯 電 話 の	ル・団体 の	友人・知人	家族	そ の 他	N A
性別	男	423	10.6	23.4	14.2	4.3	7.8	1.4	37.4	47.3	15.1	6.6	1.7
	女	320	13.1	25.9	21.3	4.7	10.0	1.3	25.0	40.9	18.8	9.4	1.9
年齢	18~19歳	132	10.6	18.2	23.5	5.3	7.6	3.0	28.0	42.4	25.0	4.5	5.3
	20~24歳	210	12.4	18.1	21.4	7.1	12.9	1.4	26.2	50.0	17.1	9.5	1.0
	25~29歳	144	12.5	34.7	12.5	2.1	9.7	0.7	25.7	43.1	13.9	7.6	0.7
	30~35歳	257	11.3	27.2	13.2	3.1	5.4	0.8	42.4	42.0	13.6	8.2	1.2

### ⑥地域のイベント・活動に参加しない理由

参加しなかった青年にその理由をきいた結果が図 $\Pi-14$ である。「忙しくて時間がない」 (52.7%) が 5 割を超えてもっとも高く、次いで「自分の興味にあう活動がない、時期や 時間が合わない」 (38.2%)、「どのような活動があるのかわからない」 (31.9%)、「きっかけがつかめない」 (30.8%) などの順である。

男女別では、「どのような活動があるのかわからない」(男 23.4%、女 41.3%)は男性よりも女性で高く、年齢別では、「身近なところに参加できる活動が少ない」や「きっかけがつかめない」は 10 代後半あるいは 20 代前半で高い(表 II-13)。

居住地区別では、「自分の興味にあう活動がない、時期や時間が合わない」は「仙北地区」 (44.2%) で高く、「きっかけがつかめない」は「仙台市」(35.1%) で高い。



表II-13 地域イベント・活動に参加しなかった理由

		地域イグ	シト・活	動に参加	しなかっ	た理由							
		該	い忙	い同	費	な加身		ら動ど	段申	なき	興そ	そ	N
		当	し	好	用				が込	いっ	味の	の	Α
		当 者 数	い	の	が				わみ	か	がよ	他	
		数		仲	か	ると	なな興		かや	け	なう		
			時	間	か	活こ	いい味		ら参	が	いな		
			間	が	る	動ろ	、に		な加	つ ,			
			がか	い		がに	時あ		いのエ	かり	ح.		
			な	な		少参	間う	か活	手	め	に		
性別	男	419	49.4	17.9	15.0	27.0	40.3	23.4	12.6	27.0	25.5	3.1	1.2
	女	380	56.3	25.5	9.2	26.3	35.8	41.3	13.4	35.0	18.9	3.4	0.8
年齢	18~19歳	281	50.5	20.6	17.8	31.7	35.6	29.2	13.2	30.2	23.8	5.0	1.4
	20~24歳	274	51.8	23.4	11.7	28.1	38.7	33.2	12.4	36.5	24.8	3.3	0.4
	25~29歳	108	53.7	19.4	8.3	17.6	40.7	38.0	14.8	24.1	18.5	0.9	1.9
	30~35歳	136	58.1	21.3	5.1	20.6	40.4	30.1	12.5	25.7	17.6	1.5	0.7
居住地区	仙台市	436	51.4	22.5	11.2	25.7	36.5	33.5	13.3	35.1	20.9	4.4	0.5
	仙南地区	85	50.6	20.0	9.4	28.2	32.9	36.5	15.3	25.9	25.9	1.2	1.2
	仙北地区	249	54.6	20.5	15.3	28.9	44.2	27.7	12.9	25.7	24.9	2.0	1.2
	その他	18	66.7	22.2	5.6	27.8	16.7	44.4	_	33.3	11.1	5.6	11.1

### (3) 地域でのイベント・活動への参加・参画希望

# ①今後参加してみたいイベント・活動

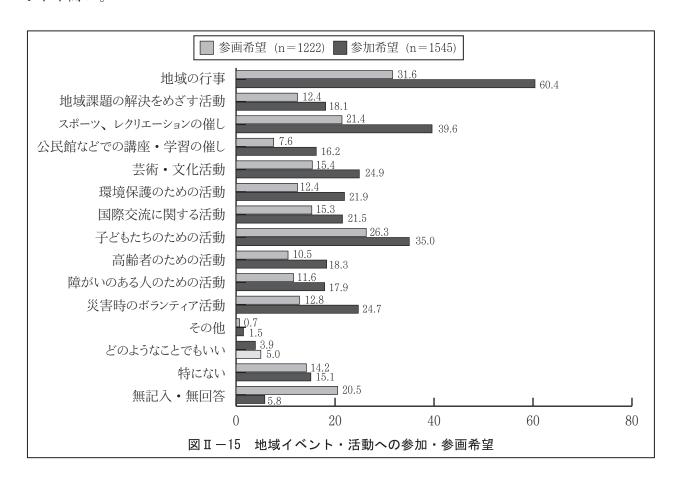
今後参加してみたいイベント・活動については、「お祭りなどの地域の行事」(60.4%)がもっとも高く、以下「スポーツやレクリエーションの催し」(39.6%)、「子どもたちのための活動」(35.0%)、「芸術・文化に関する活動」(24.9%)、「災害時のボランティア活動」(24.7%)の順である。これらは、前述の実際に参加しているイベント・活動の上位の項目とほぼ同じである(図  $\Pi-15$ )。

男女別にみると、「お祭りなどの地域の行事」(男 55.3%、女 66.5%)や「子どもたちのための活動」(男 29.9%、女 41.2%)、「芸術・文化に関する活動」(男 19.2%、女 31.8%)、「国際交流に関する活動」(男 15.9%、女 28.2%)は、いずれも男性より女性で高い(表  $\Pi-14$ )。

年齢別では、「お祭りなどの地域の行事」や「高齢者のための活動」、「障がいのある人のための活動」はいずれも10代後半や20代前半で高い。

職業別では、「お祭りなどの地域の行事」や「地域課題の解決をめざす活動」、「災害時のボランティア活動」はいずれも「自営業・自由業(農林漁業を含む)」で高く、「お祭りなどの地域の行事」については、学生でも高い。

居住地区別では、「芸術・文化に関する活動」や「国際交流に関する活動」は「仙台市」でやや高い。



表Ⅱ-14 今後参加・継続したい地域でのイベント・活動

		今後も	参加•	継続し	たい地	域での		ト・活動	j)								
		該当者数	地域の行	めざす活題	エー ショツ	座・学習な	芸術・文	活環境 銀 護	活 動際 交流		動高 齢者の	ための活	ティア活の	その他	もいいよう	特にない	N A
			· 事	動解決を	ンの催し	の催し講	化活動	のための	に関する	動たちの	ための活	動る人の	動ボラン		なことで		
性別	男	844	55.3	20.4	43.2	13.4	19.2	19.8	15.9	29.9	14.0	13.3	22.7	1.5	5.1	17.7	7.8
	女	701	66.5	15.3	35.2	19.5	31.8	24.5	28.2	41.2	23.4	23.5	27.1	1.4	5.0	12.1	3.4
年齢	18~19歳	414	62.8	13.8	36.7	13.5	25.6	23.7	23.2	35.7	23.4	22.5	25.8	1.4	5.6	17.1	5.8
	20~24歳	484	66.9	18.8	43.2	18.4	28.9	25.0	24.6	37.8	22.1	21.1	27.1	1.7	5.0	12.4	5.0
	25~29歳	254	52.8	18.1	40.2	14.6	24.0	18.9	18.9	28.0	13.4	12.2	23.6	0.8	4.7	15.0	7.1
	30~35歳	393	54.7	21.6	37.9	17.3	19.8	18.3	17.6	35.4	11.2	13.0	21.4	1.8	4.8	16.5	6.1
職業	勤め(常勤)	491	51.9	16.5	41.1	13.6	20.4	17.9	17.5	29.9	13.8	14.9	21.4	1.2	3.1	18.3	6.9
	勤め(非常勤)	145	62.1	17.2	41.4	15.9	24.8	27.6	26.2	40.7	17.2	16.6	31.0	2.8	6.9	16.6	4.1
	自営業、自由業	101	69.3	41.6	43.6	13.9	15.8	26.7	17.8	40.6	14.9	15.8	31.7	-	6.9	8.9	6.9
	家族従事者	15	46.7	6.7	40.0	26.7	13.3	6.7	13.3	20.0	6.7	6.7	13.3	_	_	26.7	6.7
	学生	730	66.3	16.7	38.4	17.4	29.7	23.6	24.0	36.8	22.7	21.5	26.2	1.5	6.0	12.9	4.9
	専業主婦	24	58.3	4.2	25.0	12.5	16.7	8.3	25.0	45.8	4.2	8.3	8.3	_	4.2	20.8	8.3
	無職	16	37.5	18.8	43.8	31.3	43.8	31.3	31.3	37.5	18.8	12.5	18.8	6.3	6.3	25.0	6.3
	その他	6	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	_	-	_	33.3	_
居住地区	仙台市	749	63.4	17.8	38.3	17.1	28.7	23.5	26.2	37.1	19.2	19.8	24.4	1.2	5.6	13.4	4.0
	仙南地区	175	58.3	19.4	43.4	18.3	21.1	17.7	18.3	32.6	18.9	16.0	22.9	1.1	5.1	17.1	8.6
	仙北地区	573	56.7	17.6	41.0	14.1	20.6	20.8	16.8	32.6	15.7	15.7	25.5	1.7	4.2	17.1	6.6
	その他	31	74.2	22.6	35.5	19.4	32.3	32.3	12.9	45.2	32.3	22.6	29.0	-	3.2	3.2	9.7

#### ②今後参画してみたいイベント・活動

地域のイベント・活動に関しては、参加することの希望だけでなく、企画や運営にかかわることへの希望についても質問している。このような参画希望は「お祭りなどの地域の行事」が参加希望者の 31.6%でもっとも高く、以下「子どもたちのための活動」(26.3%)、「スポーツやレクリエーションの催し」(21.4%) の順である (前掲、図 II-15)。

男女別では、「スポーツやレクリエーションの催し」(男 27.5%、女 14.8%)は女性より男性で高い(表 II-15)。

職業別では、「地域課題の解決をめざす活動」は「自営業・自由業(農林漁業を含む)」(30.6%)で高い。

居住地区別でみると、「スポーツやレクリエーションの催し」は「仙南地区」(32.3%)で高い。

なお、ジュニアリーダー経験者の場合をみると、「お祭りなどの地域の行事」(35.8%)、「スポーツやレクリエーションの催し」(29.5%)、「子どもたちのための活動」(40.0%)、「障がいのある人のための活動」(16.8%)、「災害時のボランティア活動」(21.1%)で、回答者全体の平均値を上回っている。

表Ⅱ-15 今後企画、運営に関わってみたい地域でのイベント・活動

		今後企	≥画、運	営に関	わって	みたい	地域で	<b>ごのイ</b> ベ	シト・活	5動							
		該	地	ざ地	エス	座公	芸	動環	動国	め子	高	め障	ア災	そ	いど	特	N
		当	域	す域	ポ	• 民	術	境	際	のど	齢	のが		の	いの	に	Α
		者	の	活課	シー	学館		保	交	活も	者	活い	動時	他	ょ	な	
		数	行	動題	ョツ	習な	文	護	流	動た	の	動の	の		う	い	
			事	の	ント	のど	化江	の	に	ちょ	ため	あっ	ボニ		な		
				解決	のレ 催ク	催でしの	活動	ため	関す	たち	の	る」	ラン		ت ح		
				を	ほりしり	講	刬	( の	。 る	0	活	人の	テ		こで		
				8		D <del>173</del>		活	活	た	動	た	1		ŧ		
性別	男	844	24.5	12.2	20.5	4.7	10.3	9.2	9.1	17.7	7.2	6.8	11.1	0.6	3.0	9.6	15.9
	女	701	25.5	6.8	12.6	7.6	14.4	10.6	15.7	24.5	9.6	12.1	8.8	0.6	3.3	13.3	16.5
年齢	18~19歳	414	24.9	6.5	16.9	4.8	11.6	10.4	13.0	21.3	9.9	12.3	9.9	0.7	4.1	10.4	17.6
	20~24歳	484	27.9	9.3	19.8	9.1	14.9	11.0	13.8	22.9	10.7	11.2	11.8	0.2	2.5	11.2	13.8
	25~29歳	254	21.3	10.6	14.2	3.1	12.2	9.4	11.0	15.7	6.7	3.9	7.5	0.4	2.4	15.7	16.1
	30~35歳	393	23.9	13.2	15.0	5.3	9.4	8.1	9.7	20.9	4.6	6.9	9.9	1.0	3.3	9.4	17.6
職業	勤め(常勤)	491	22.4	10.0	17.1	4.7	10.4	7.1	9.6	14.3	5.7	6.5	9.0	0.6	2.2	11.0	16.7
	勤め(非常勤)	145	24.8	9.0	13.1	5.5	13.8	11.0	16.6	24.8	6.9	9.0	9.7	0.7	3.4	11.7	19.3
	自営業、自由業	101	37.6	25.7	23.8	3.0	9.9	14.9	8.9	31.7	7.9	6.9	16.8	-	4.0	7.9	12.9
	家族従事者	15	26.7	6.7	20.0	13.3	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	-	_	20.0	20.0
	学生	730	26.0	7.9	17.0	7.4	13.8	11.0	13.4	22.9	10.7	11.6	10.7	0.5	3.8	11.6	15.5
	専業主婦	24	16.7	ı	4.2	_	8.3	-	12.5	29.2	-	4.2	-	-	_	16.7	16.7
	無職	16	18.8	6.3	25.0	6.3	12.5	12.5	25.0	25.0	6.3	6.3	6.3	_	-	12.5	12.5
	その他	6	-	16.7	_	33.3	16.7	_	-	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7
居住地区	仙台市	619	31.2	10.0	19.2	7.9	16.0	13.9	18.4	27.6	10.8	13.2	12.0	0.5	4.2	13.9	18.3
	仙南地区	130	32.3	16.2	32.3	10.0	18.5	10.0	13.1	26.9	10.8	11.5	14.6	0.8	4.6	13.1	18.5
	仙北地区	438	32.4	14.4	21.5	6.8	13.2	11.4	12.1	23.5	9.4	9.6	13.2	1.1	3.2	15.1	23.7
	その他	27	29.6	11.1	18.5	3.7	18.5	11.1	3.7	44.4	14.8	7.4	11.1	_	3.7	11.1	22.2

# ③参画を希望するイベント・活動の場所

参画の希望についてはどこでやってみたいかを質問している。おおよそ 4 人に 3 人は「自宅、職場・学校のある市町村」(76.6%)と回答しているが、これ以外にも「県内の他の市町村」(15.3%)、「県外」(13.9%)、「海外」(14.1%)、「どこでもよい」(11.3%)、「自宅(インターネットなどの活用)」(7.1%)などとなっている(図  $\Pi-16$ )。

